

県民参加の『橋の老朽化対策見学会』を開催

～身近な“橋”の老朽化の実情とその対策について見学します～

高度経済成長期以降に建設された、道路の橋梁やトンネルなどの道路施設の老朽化に伴い、今後は、これらの補修の頻度や更新を行う必要性が高まっています。

このため、去る5月27日に「秋田県道路メンテナンス会議」を設立。7月28日には市町村職員を対象として、「橋梁点検の現地研修会」を開催しました。

この度、「秋田県道路メンテナンス会議」では、一般の方々を対象として、普段はなかなか見ることができない、橋の老朽化や損傷の現状と、それに対する補修の取り組み、耐久性を向上させる最先端の技術を活用した橋梁の建設などの取り組みについて、広く知っていただくことを目的に『橋の老朽化対策見学会』を開催します。

これによって、日常的に利用している道路施設の安全確保の必要性と、これからの公共事業の進め方について、一般の方々により深く知っていただきたいと考えています。

【見学会の概要】

1. 日 時 平成26年10月25日（土） 13:00～16:00
2. 見学場所と内容 参加者を以下①～④の橋にバスで案内、見学する。【次頁の見学場所参照】
①、②では、2橋を比較して見学、橋の老朽化について説明する。
③では、再塗装と舗装の現場を見学、再塗装の簡易な補修を体験できます。
また、④新橋の建設現場では、耐久性を向上させる最先端の技術を説明する。
① 健全な橋：主要地方道秋田天王線「秋田大橋」
② 老朽化した橋：主要地方道寺内新屋雄和線「雄物新橋」
③ 補修している橋：主要地方道寺内新屋雄和線「館の丸大橋」
④ 新しく造っている橋：一般国道7号「雄物大橋」
3. 見学会参加者 約30名
4. 取材について ③「館の丸大橋」の現場で取材可能です。
(14:00頃到着予定【見学時間は、1時間程度を予定】)
現場入場する際に必要となるヘルメットは当方で準備します。
10月24日正午までに下記担当者宛に電話かFAX、メールで事前登録をお願いします。【次頁の登録事項参照】

秋田県建設部 道路課 道路環境・維持班 副主幹 伊藤
TEL : 018-860-2487
FAX : 018-860-3837
E-mail : hiro-i@pref.akita.lg.jp

〈発表記者会：秋田県政記者クラブ〉

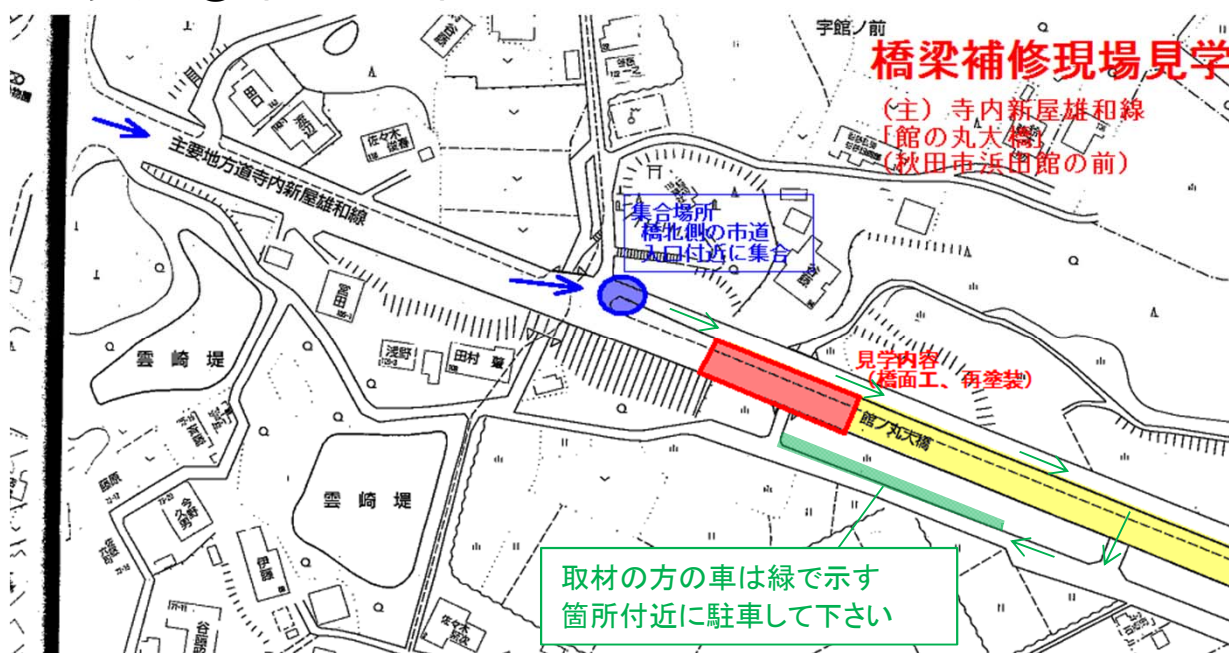
〈問い合わせ先〉

秋田河川国道事務所
副所長 佐野 智樹 TEL 018-823-4167（代表）（内線205）
秋田県建設部 道路課
道路課長 柴田 公博 TEL 018-860-2480（直通）

見学場所およびルート：一般の方



取材場所(③館の丸大橋)



登録事項

取材を希望される方は、以下の事項をお知らせ下さい。

- | |
|--------------|
| 1. 会社名 |
| 2. 氏名 |
| 3. 連絡先(電話番号) |